

Savox Promate RSM-30 Buddycom_Setup_Guide v1.4.5

株式会社サイエンスアーツ

Savox Promate RSM-30



1.スペック

- 重量:180g(ケーブル含む)
- ケーブル長:580mm(圧縮時)
- サイズ:100mm x 67mm x 27mm
- 連続使用時間:20時間
- 連続待機時間:90時間
- 充電時間:2時間
- 防水 / 防塵: IP55
- 4極 3.5mmイヤホンジャック(CTIA規格)
- メーカー保証:1年

- ① マイク
- ② PTTボタン(Buddycomでは長押しで会話を開始します)
- ③ クリップ(本体裏側)
- ④ ボリューム(+)ボタン
- ⑤ ボリューム(-)ボタン
- ⑥ スピーカ
- ⑦ ランプ
- ⑧ MicroUSB差込口
(充電時にMicroUSBケーブルを接続します)
- ⑨ イヤホンジャック
- ⑩ MFボタン(Buddycomではクリック毎に会話をオン/オフします)
 - ・ 手動電源オン:電源オフ時に10秒長押し
 - ・ 通話:着信中に1回押下
 - ・ 終話:通話中に1回押下
 - ・ 着信拒否:着信中に2秒長押し
 - ・ 音声検索アプリ起動:接続中に2秒長押し

2.電源のオン/オフ

本製品はプラグを抜き差しした際に、自動で電源をオン/オフします。電源オン時は、ランプが緑で点滅します。

手動で電源をオンにする場合、電源オフ時にMFボタンを10秒長押ししてください。

3.PTTモードの変更

PTTボタンの動作を変更します。既定値はモード1です。Buddycomは、モード1で動作しますので、PTTモードを変更する必要はありません。誤って変更した場合は、電源オフ時にボリューム(-)ボタンとMFボタンを、長押しすると、PTTモードを変更できます。PTTモードは、ピープ音が鳴る回数で判断できます(モード1の場合、ピープ音が1回鳴りません。)

4.バッテリーチェック

電源オフ時に、MFボタンを2秒間長押ししてください。出力されるピープ音の回数で、残量を確認できます。

なお、残量が10%を下回った場合、ピープ音で通知します。

- ✓ 3回 60%~100%
- ✓ 2回 30%~60%
- ✓ 1回 10%~30%

5.オーディオルーターティング

本製品にイヤホンまたはイヤホンマイクを接続した際、スピーカーから音声を出力します。

電源オン時に、ボリューム(+)ボタンとボリューム(-)ボタン、MFボタンを同時に押下してください。

オーディオルーターティングの設定は、次回電源オン時に既定値に戻ります。

6.エコーキャンセル

本製品は既定でエコーキャンセルが有効です。この機能により電話時およびMFボタンでの通話時、マイク入力が-15dBされます。この機能は、電源オン時に、ボリューム(+)ボタンとボリューム(-)ボタンと3秒間長押しすると無効になります。

エコーキャンセルの設定は、次回電源オン時に既定値に戻ります。

7.より長くお使いいただくために

1. お買い上げ時、バッテリーは十分に充電されていません。初めてご使用になるときは、6時間程度充電してからご利用ください。
2. バッテリーは数百回の充電が可能です。十分に充電しても、お買い上げ時より利用時間が短い場合は、バッテリーの寿命が近づいています。バッテリーの交換対応はしておりませんので、保証期間外の場合は新規購入してください。
3. 必要以上に充電し続けた場合、バッテリーの寿命に影響を及ぼすことがあります。充電が完了した際は、充電ケーブルを取り外してください。
4. バッテリーの寿命に影響を及ぼすため、極度に高温、または低温な環境に放置しないでください。15℃～25℃の環境がバッテリーへの影響が少なくなります。
5. 製品が高温または低温の場合、バッテリーが充電されていても、安全のため、一時的に製品を利用できない場合があります。湿度が高い環境では、充電しないでください。

8.使用上の注意

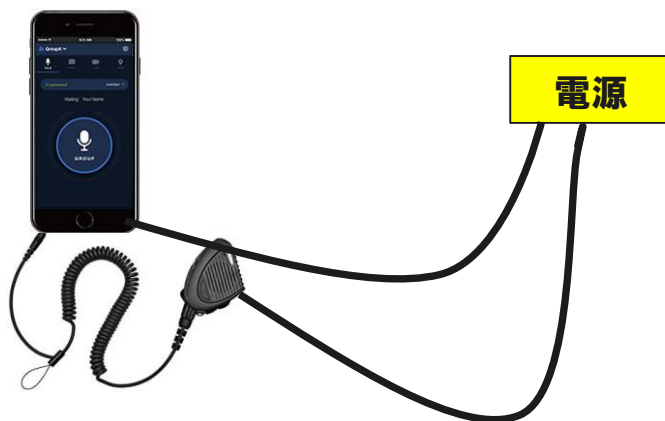
1. 製品を水などの液体に浸けないでください。
2. 長時間、高温または低温の環境で、製品を保管しないでください。
3. 落下、衝撃、振動など、製品が破損する行為を避けてください。
4. 鋭利なものへの接触など、製品を削ったり破損を与える環境にさらさないでください。
5. その他、製品の内部に破損を与える行為をしないでください。
6. 製品を分解しないでください。

8. 使用上の注意

7. 本製品をスマートフォンに接続した状態で、1つの電源から、本製品とスマートフォンを同時に充電しないでください。同一電源での同時充電には対応していません。

RSM-30はバッテリーを複数搭載している、海外の特定車両向けに設計されています。
日本の車両は基本的にひとつしかバッテリーを搭載しておらず、1台の車両で複数機器を同時充電すると、グラウンドループノイズ現象が起き、通話にノイズが入ります。

本理由により、弊社のバスのお客様は、公共のバス事業者さまはじめ、100%、Bluetoothスピーカーマイクをご利用いただいております。



● うまく動作しないときの確認事項

9. 困ったときは

1. 音声が聞こえない。

下記の点をご確認ください。

- ✓ RSM-30接続後に、スマホ・タブレットのボリュームを上げてください。
- ✓ Aldioアプリ: アプリの設定メニューで、「入力音量のブースト」「出力音量のブースト」を調節してください。
- ✓ Buddycomアプリ: アプリの設定メニューの、「サウンドボリューム」を調整してください。

2. ビープ音が聞こえない

- ✓ Aldioの設定メニューで、ビープ音の音量を上げてご使用ください。
- ✓ Buddycomアプリ: アプリの設定メニューの、「サウンドボリューム」を調整してください。

<Buddycom>



<Aldio>



再接続時のアラート音  ...オン
 ...オフ

● うまく動作しないときの確認事項

9. 困ったときは

3. PTTボタンがBuddycomと連動しない。

下記の点をご確認ください。

- ✓ RSM-30を取り外して電源がオフになった後、再度接続してください。
- ✓ P3.「PTTボタンモードの変更」の操作で、モード1を選択してください。

※他のメディア音量を利用するアプリを使用後の動作について

Android OS 8.0以上では、Buddycom使用中に音楽アプリなどのメディア音量を利用するアプリを使用後に、PTTボタンが利用できなくなる事象を確認しております。一度Buddycomアプリをフォアグラウンドにしてから発信する必要があります。